

一般質問

12月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。その質問の要旨について、議員本人が次のとおり報告いたします。

防犯対策
(防犯カメラの促進)

質問者 高橋總一郎

議員 防犯カメラは、犯罪者が嫌う「人の目」を補完し、記録できる道具として着目され、犯罪抑制、検挙率向上、交通事故の検証にも役立っており、各自自治体では通学路への設置に向けた検討が成されており、当市に於いての具体的な計画、設置状況はどのようになっているか。

市長 市民の安全はもちろん、安心なまちづくりを進めるために大きな役割を果たすものであると認識しております。
部長 具体的な全体計画はないが、地域づくり協議会や警察等の意見を伺いながら設置する方向で検討してまいります。東富岡駅3基、銀座交流館2基、富岡駅2基、銀座通り6基、仲町通り8基、製糸

場1基、小中学校17校に配置済みで74基が設置済みです。

議員 通学路、夜間の歩行等の安全対策として交差点や公共施設等であれば容易に設置が可能と思うが。

部長 技術的、手続き的にも比較的問題なく設置できると考えております。

議員 商店街や街路灯組合等への設置補助制度を設ける必要があると思うが。

部長 設置団体への補助金制度含め行政として市民の皆さまと協働し、安全安心なまちづくりに向け検討、対応してまいります。

更に、「空き家対策」「地域活性化・地域消費喚起事業」「黒岩鉱山跡地利用」について質問させて頂きました。

ごみの減量化について

質問者 佐藤次郎

議員 可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの収集量、焼却量、埋立量、リサイクル率は、それぞれいくらですか。

部長 26年度で可燃ごみ1.5万t、不燃ごみ1.1千t、資源ごみ1.6千t、焼却量1.6千t、埋立量2.4千t、

リサイクル率18.2%です。

議員 ごみ処理の市民一人当たりの金額は、いくらですか。

部長 1万1796円です。

議員 人口が減って、ごみの量が増えリサイクル率が上がらず、6億円を超える費用がかかっていることは、ごみの分別が必要ですか。

認知症および癌の早期発見について

議員 10年後、富岡市では認知症の人は何人と推定していますか。

課長 65歳以上で約2700人です。人口6人に1人です。

議員 認知症テスト、認知症診断で検査をするシステム構築が必要ではないですか。

課長 医師会などと検討します。

議員 癌で登録される人数は、

課長 26年度富岡総合院内の癌登録者数は352人です。

議員 消化器系がん発見方法にマイクロアレイ検査があるが検討が必要ではないか。

課長 国の動向を見ながら検討します。

議員 富岡総合病院でPET装置の導入を検討されていますか。

課長 現在、富岡総合病院と協議を進めています。

議員 早期発見のためにも装置導入をお願いしたい。



「富岡製糸場」保全・活用の関連事業や施策について

質問者 壁田賢一

議員 「世界遺産宝くじ」の提言をされました。この提言の構想をお聞かせ願いたい。

市長 文化財保護行政については、国の予算が大変少ないのが現状で、今後は関係自治体と連携を深め、財源の確保に向けて「世界遺産宝くじ」が実現するよう、国等への提言・要望を行っていききたい。

議員 製糸場周辺に緊急時対応の為に交番の設置の提案。次に「雨水利用推進法」の必要性の見解をお聞きしたい。

室長 岩井市長により新庁舎建設において、雨水利用を図る為、雨水貯留槽等の設備を設置する。また市民の皆様にも雨水の有効利用の働き掛けを積極的に行って参りたい。

議員 各家庭に雨水タンクを設置すれば小さなダムに匹敵する。雨水利用を推進し、富岡市民ダムを提案。次に「自治体スマートフォンプリ」について伺う。

室長 今後、ICTのまちづくりにつきましては、検討結果を具体化する為の取り組みを進めてまいります。

議員 災害時・健康・子育て・観光など、総合窓口の創設と双方向型のシステムの開発ができないか。

室長 分かりやすい入口・窓口にして、そこから各分野に入り、双方向型のシステム構築を目指して、研究・検討してまいります。

議員 「三世同居」について

課長 今後は、住宅の取得やリフォーム等に対する補助制度等を検討していく。

大学生の就職情報支援について

質問者 茂原正秀

議員 人口減少に歯止めを掛けるには、まずは大学進学のために富岡市を離れた若者を、就職の時点で再度、戻ってもらうことが重要と私は考えております。そのためには、富岡市に住んで通勤が可能な工

場1基、小中学校17校に配置済みで74基が設置済みです。